

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

宮崎市では、性別にかかわらず、誰もが自分らしく、輝いて生きることができるよう、「宮崎市男女共同参画社会づくり推進条例」（平成18年1月1日施行）及び「宮崎市男女共同参画基本計画」に基づき男女共同参画社会づくりを進めており、その中でも「DV（ドメスティック・バイオレンス）防止のための啓発及び支援体制の充実」については、本市が重点的に取り組む施策としている。

この調査は、配偶者等への暴力を許さない意識づくりや被害者の保護・自立に向けた支援に関する施策や、その他の男女共同参画社会づくりに関する施策等の今後の展開の参考とするため、宮崎市民の「男女間における暴力」の実態等を把握するものである。

2 調査項目

- (1) 配偶者暴力防止法についての認知
- (2) 夫婦間での行為についての暴力としての認識
- (3) 配偶者からの被害経験
- (4) 交際相手からの被害経験
- (5) 特定の異性からの執拗なつきまとい等の経験
- (6) 異性から無理やりに性交された経験
- (7) 男女間の暴力を防止するために必要な対策・体制

3 調査対象

宮崎市の住民基本台帳から20歳以上の男女3,000名を無作為に抽出した。

4 調査時期

平成27年8月1日～8月31日

5 調査方法

郵送配布・郵送回収とした。

6 回収結果

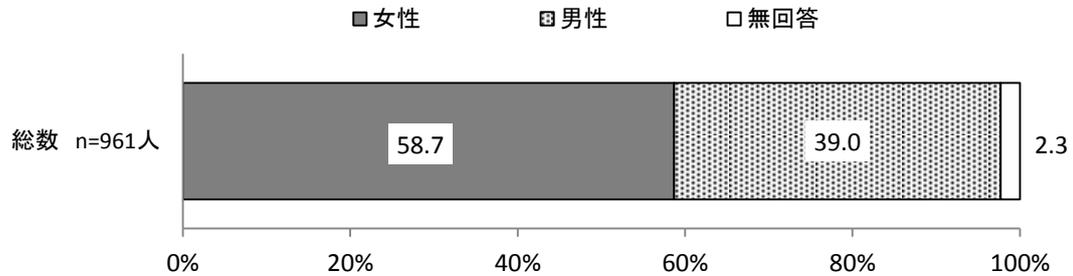
配布数	有効回答数	有効回答率
3,000	961	32.0%

7 回答者の属性

(1) 性別

F 1 あなたの性別。(○は1つ)

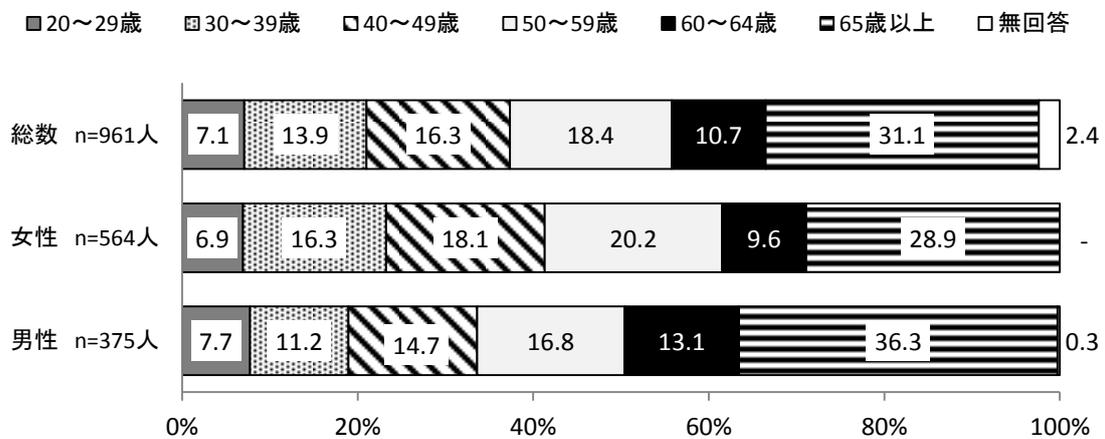
図1 性別



(2) 年齢

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

図2 年齢

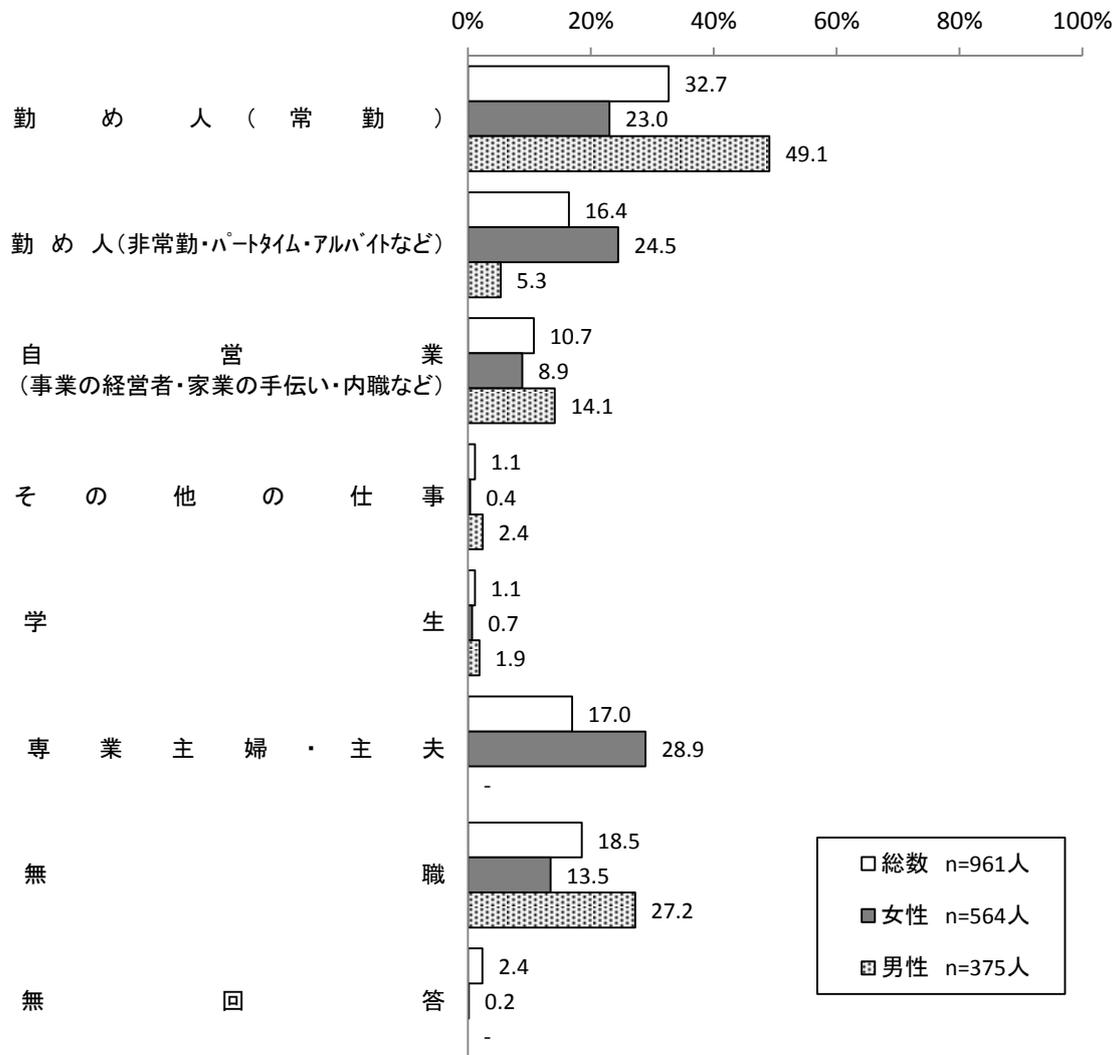


*総数には性別について無回答の人も含む。

(3) 職業

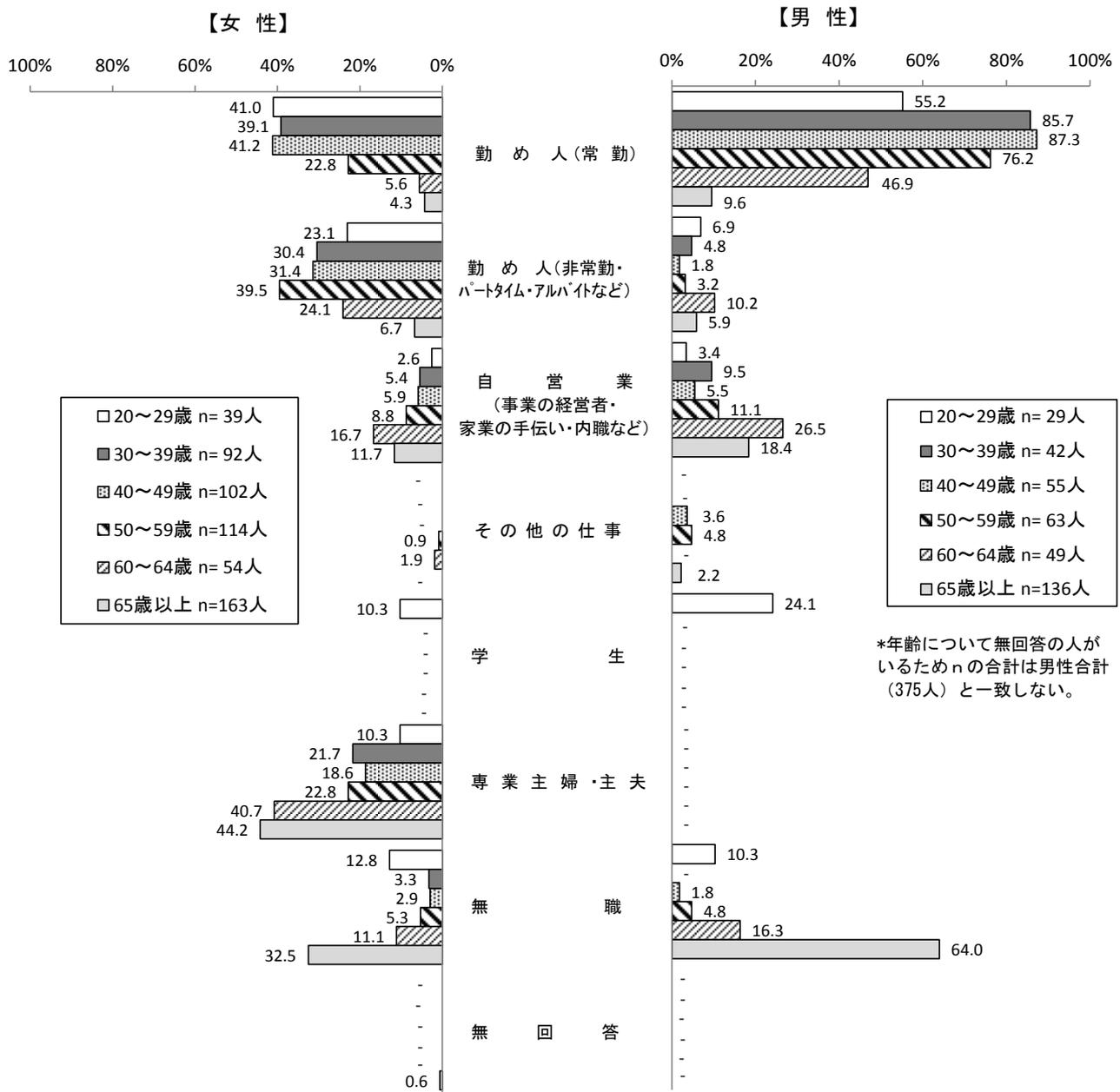
F3 あなたの職業は次のどれにあたりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
(○は1つ)

図3 職業



*総数には性別について無回答の人も含む。

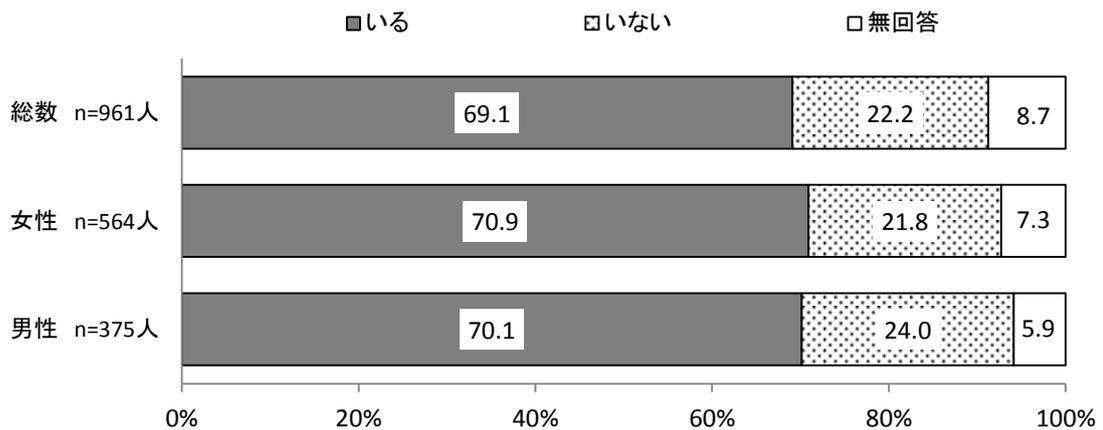
図4 職業(性・年齢別)



(4) 子どもの有無

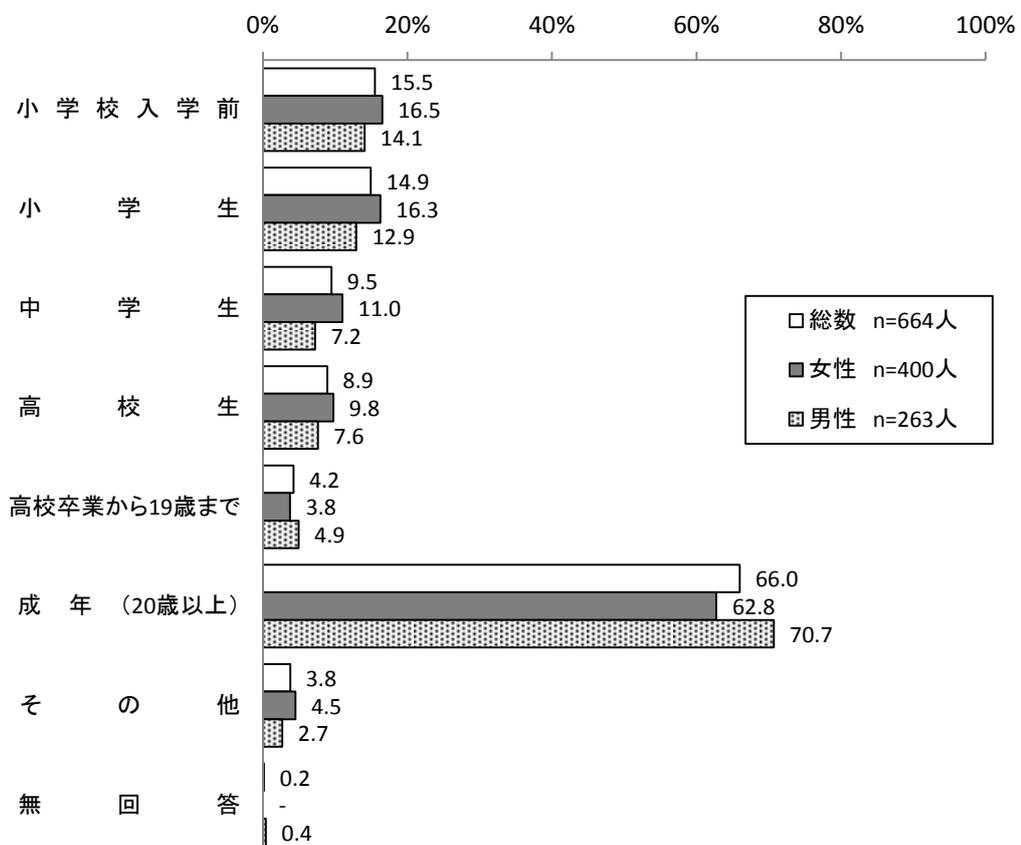
F4 あなたには、お子さんはいらっしゃいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、「1.いる」と回答した方は、お子さんの成長段階についてもご回答ください。(○はいくつでも) なお、人数は関係ありませんので、例えば、小学生の子が2人以上いる場合でも「2.小学生」に○をつけてください。

図5 子どもの有無



*総数には性別について無回答の人も含む。

図6 子どもの成長段階(複数回答)

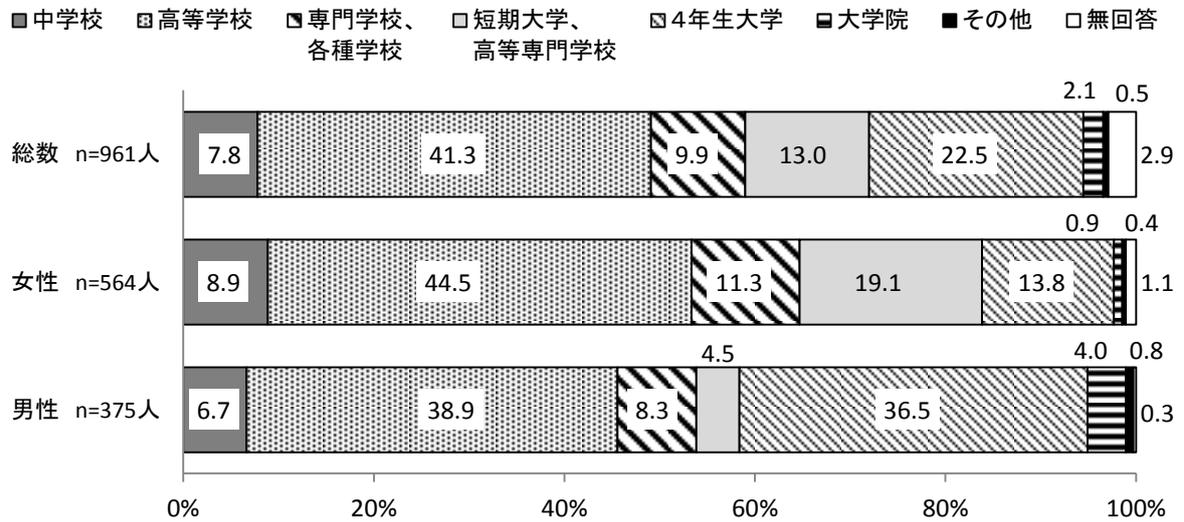


*総数には性別について無回答の人も含む。

(5) 最終学歴

F 5 あなたが最後に卒業した学校は次のどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
中退の場合は、最後に卒業した学校をお答えください。また在学中の場合は、現在在学している学校をお答えください。(○は1つ)

図7 最終学歴

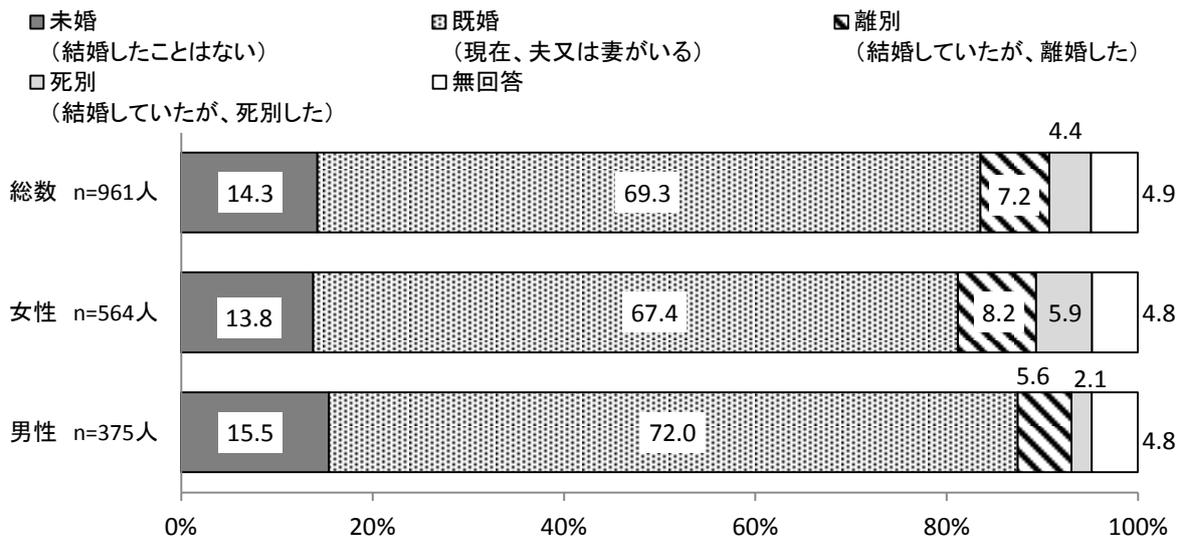


*総数には性別について無回答の人も含む。

(6) 未既婚

問4 あなたは、現在、結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は1つ)
なお、ここでの「結婚」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます。

図8 未既婚



*総数には性別について無回答の人も含む。

図9 未既婚(性・年齢階級別)【女性】

【女性】

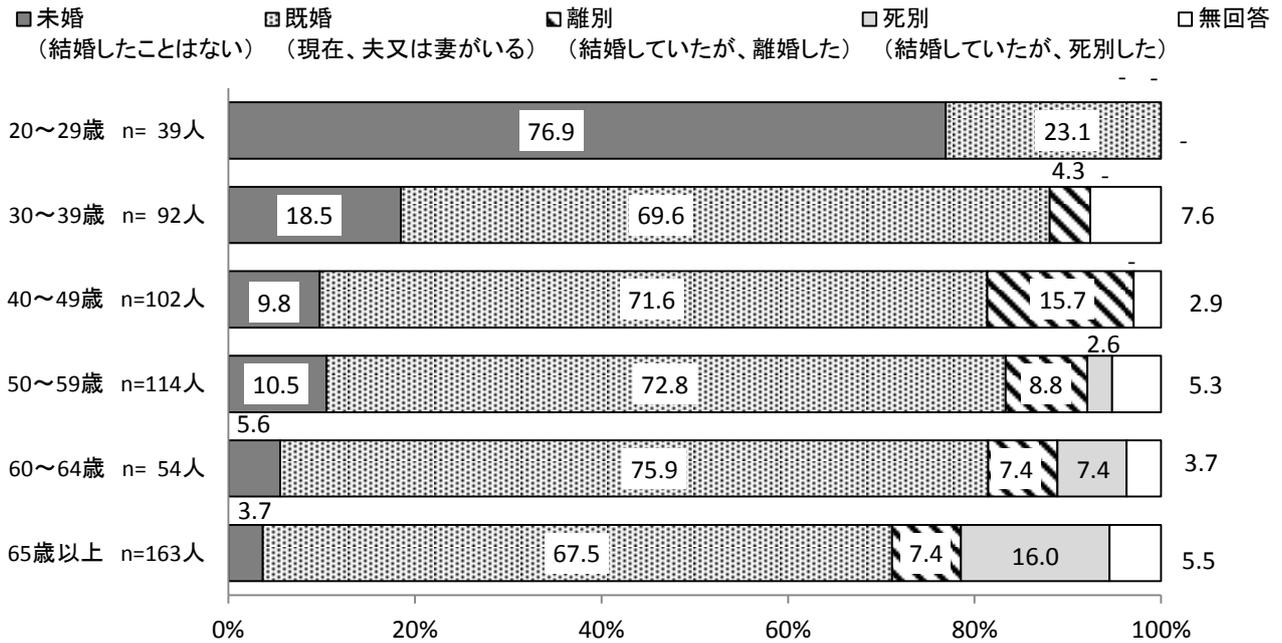
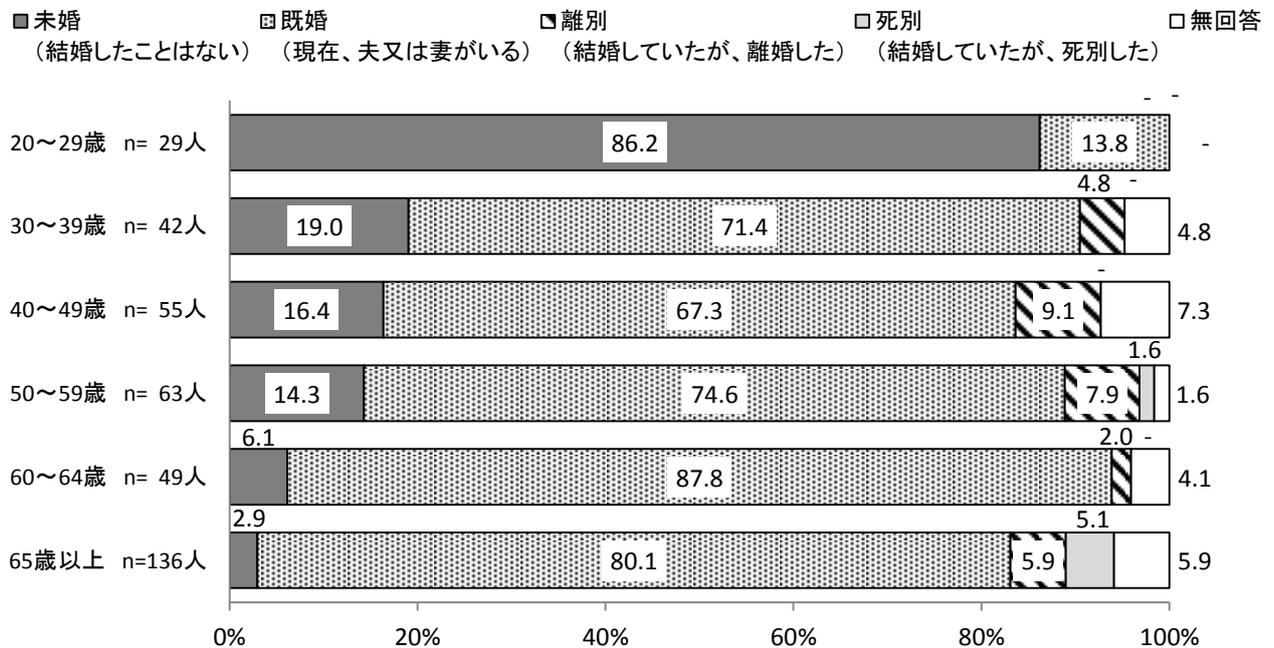


図10 未既婚(性・年齢階級別)【男性】

【男性】

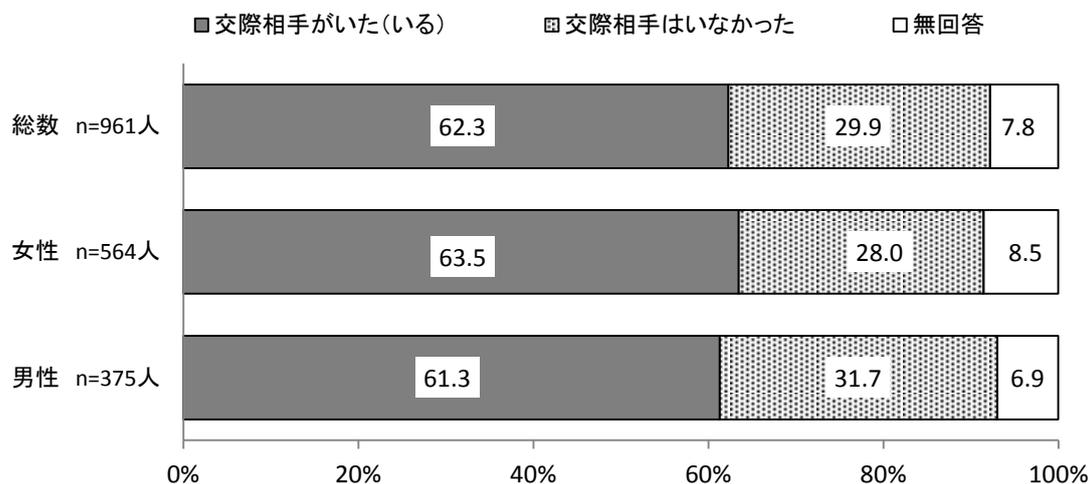


*年齢について無回答の人がいるためnの合計は男性合計(375人)と一致しない。

(7) 交際相手の有無

問 14 あなたには、これまでに交際相手がありましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。
 現在、結婚している方については、結婚前についてお答えください。なお、ここでいう「交際相手」には、婚姻届を出していない事実婚は含みません。(○は1つ)

図 11 交際相手の有無



*総数には性別について無回答の人も含む。

8 この報告書を読む際の注意

- (1) 調査票の設問に少しでも回答のあるものを有効回答とし、まったく回答のないものについては無効としてすべての集計対象から除外した。また、回答すべき設問に回答のない場合は、いずれも「無回答」として集計した。
- (2) 集計表の比率については小数点第二位で四捨五入して表示しているため、択一回答における表中の比率の内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中の n とは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数 (961人) または分類別の回答者数のことである。
- (4) 図表中の M.T とは、複数回答の場合に、回答数の合計を回答者数 (n) で割った比率のことである。2つ以上の回答を認めているため、その値は通常100%を超える。
- (5) 図表中 “-” は、回答者が皆無であったことを示す。
- (6) コンピュータ入力の都合上、表・グラフの見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。